

# ソーシャルラーニングにおける SNS の活用

---

## —ファシリテーターの役割と重要性—

Application of Social Network Service in Social Learning  
Facilitators roles and significance for discussing by SNS

提出日

2014 年 1 月 29 日

指導教授

齋藤 正武 准教授

中央大学商学部

学科	会計学科
学籍番号	10C2130051D
氏名	小山真由華

# ソーシャルラーニングにおける SNS の活用

## —ファシリテーターの役割と重要性—

Application of Social Network Service in Social Learning  
Facilitator's roles and significance for discussing by SNS

齋藤正武ゼミ

小山 真由華

近年、様々な形で発展してきた E-LEARNING は、インターネットのインフラ化やスマートフォン、タブレット端末などのモバイル機器の普及によって、新たな学びの形として注目を浴びている。また、E-LEARNING にソーシャルネットワーキングサービスを活用しようとする試みも見られる。このような取り組みの中で注目すべきはファシリテーターの役割である。

そこで本研究は、ゼミ形式の授業を対象として、授業進行に関わる議論に SNS を利用した実験をし、ファシリテーターの役割について考察を行った。具体的には、1) ファシリテーターの知識の差が議論に及ぼす影響と議論の人数と参加者同士の関係性が議論に及ぼす影響について実験し、2) 二種類の SNS を使用し、デバイスや使用する SNS が議論の活性化に与える影響を考察した。

結果として、知識の量と参加者同士の関係性は SNS を通して学生が議論する上で、大きく影響していることが分かった。ファシリテーターの役割も SNS の種類や参加者同士の関係性によって大きく変化するため、それらに合わせたファシリテーターが必要になることも分かった。しかし、教育に活用する上で議論が成績評価へ関与するか否かや、参加者の特性による向き不向きなどいくつかの課題が残る。

今後の課題として、参加者のモチベーションや特性、参加者同士の関係性が SNS を活用した議論においてどのように影響を及ぼすのか、ファシリテーター以外の側面からの実験・検証が必要である。